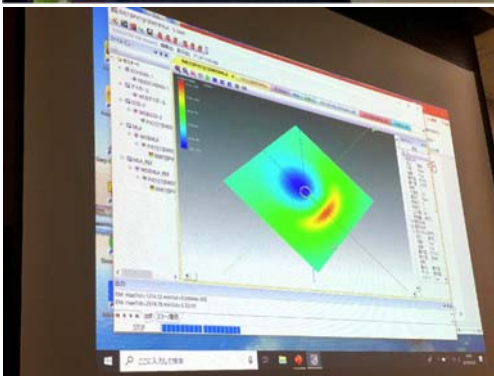


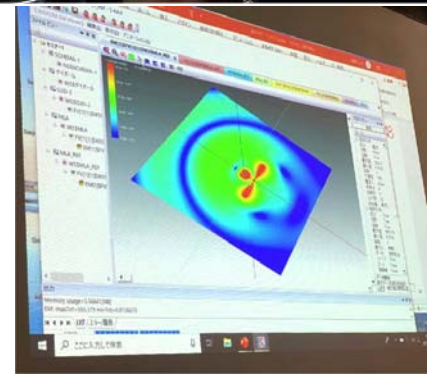
MLA48プロジェクト

🕒 6月度合同ミーティング(MLA48 通算第118回)

6月22日(土)、[長津田地区センター](#)で[JHIYMC 横浜みどりクラブ](#) 第七十二回アンテナ製作プロジェクトと [MLA48プロジェクト](#) 合同ミーティングを開催。恒例のプチ講演は[JA5KVK/1 小川さん](#)の「シミュレータで作る超テキトーなアンテナ」。事前に発表されたタイトルのキーワードに、さまざまな期待(hi)が高まりました。



[小川さん](#)制作のS-NAP Wireless Suiteの使い方から始まり、MLAのシミュレーションの手順と、結果も詳しく解説。コンデンサの少し先に「電波インピーダンスが高い領域(写真左)」が発生する不思議や、そこに1/2波長の電線を置いたとき指向性が変わる様子(同右)も、ベランダ設置のヒントになりそうです。



さて「超テキトー」とは何だったのか？ それは、小川さんがベランダで実験したステンレスの物干し竿に電線を垂らした「適当な長さを適当な周波数(ここでは21MHz)でアンテナにする」というアイデアでした。



シミュレーションでは床にGND板を敷いたモデルです。しかし、製作では、遊んでいるMLAのメインループにつないで床に転がす(hi)といったテキトー(SRI)が、小川さんの真骨頂か…？ 「結果の考察からヒントを得て」「そこから自分のアイデアを引き出し」「即座に正否を確認する」といった使い方が、電磁界シミュレータのあるべき姿なのかもしれません。(トランジスタ技術6月号のDVDに収録) DE JG1UNE

